

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多賀城市児童発達支援センター太陽の家				公表日	令和7年3月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		・パーティションを使ったり、机の配置に変化をつけ工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	2	・多いと感じたり、少ないと感じることがある。都度、クラス内、クラス間で調整しているが少ないと感じたまま活動することもある。 ・多すぎると感じることもある。 ・子どもの状況によっては、1対1で対応する場面もある。	・職員の勤務状況により必要時には職員が協力し体制を整えるように配慮している。また、基本、職員の配置を十分にしていることから児童の利用状態によって、職員が臨機応変に動いている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14		・古い施設なので、建物を変えることは難しいが、ある物を活用して構造化できるように工夫している。 ・整理整頓に心がけ、構造化が崩れないようにしていく。児童に必要な物を手作り準備している。 ・子どもにわかり易い構造化をし、活動できるようにしている。	・部屋の空間をうまく活用するため、構造化を行い児童がわかりやすい環境設定を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		・掃除や環境整備等、気をつけて取り組んでいるが、老朽化しているところもある。 ・日々の掃除、職員間で話し合い活動に合わせてられる空間になるよう心掛けている。・活動によって工夫している。 ・生活しやすい空間になるよう工夫している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	3	・クールダウン等、子どもの状況に合わせて場所を変更している。ただ、クールダウン部屋というものが無いため、あると嬉しい。 ・施設しているため、自由には動くことはできない。 ・使用できる部屋がないことがある。	・必要に応じてクールダウンができるような配慮を行っているが、専用の部屋は確保できていない。ミニテントや段ボールの部屋を使用することで対応する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12		・目標を設定し実施、振り返りと職員皆で考える機会を作っている。 ・分からない。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		・分からない。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		・今年度から会議で皆の意見を確認し合う場が増えたように思う。 ・職員会議の在り方など、話し合いがあり、職員同士で気軽に意見し合える機会や匿名で意見できるシステムが考えられている。 ・調書を取り、面談等で聞き取りを行っている。 ・業務の振り返り等の際、意見を出す機会がある。 ・職員会議など、職員の意見を聞いて改善しようとしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5	・第三者による外部評価を行っていない。 ・分からない。	・外部からの評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15		・外部講師による研修がもっとあっていいと思う。 ・職員研修の機会はある ・センター内、外での研修が行われている。	・知識の獲得やスキルアップを目指し職員の資質向上のため、研修を行っている。資格取得、現場対応、制度の理解など今後も計画的に進める。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	2	・公表されているかわからない。 ・支援プログラムは公表されていない。	・支援プログラムを作成し5領域との関連性を明確にした支援の実施内容を公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15		・アセスメントを行い、保護者のニーズ、課題を把握し計画を作成している。		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が計画を立て担当者会議など、クラスと児発管と連携して行える。 ・児発管が計画を作成しているが、クラス職員と共通理解した上で計画作成をしている。 ・児発管がクラス職員と共有する時間を作ってくれている。 ・児発管が主となり、クラス職員へ聞き取りしており支援にもつなげやすくなった。 	・児発管、クラス担任と確認をしながら共通理解の元計画を作成している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス間で話し合い支援している。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの支援に必要な項目が適切に設定されている 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・立案の充実を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体活動の内容をチームで行っている。また、年に3回に見直しを行ない、より良い活動内容を検討している。今後さらに内容の充実を図る。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に活動内容を見直している。 ・リーダーが毎週変わるので固定化はしにくいですが、クラスの実情に応じて、専門職の先生主導の活動の時間を設ける等、より、効果的な関わりが持てるように専門職の先生から身をもって学ぶ機会がもっとあるとよいと感じる。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り行っている。必ずとは言えないが、都度、声かけを心がけている。 ・クラスでの打ち合わせは難しいが可能な範囲で行っている。 ・打合せを行う時間はなく、毎日必ずではないが可能な限り、支援者間で共有はしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の打ち合わせ時には常勤職員での一日の流れの確認を行っている。時間差で出勤の職員へはノートを通して引き継いでいる。クラスごとの支援内容の確認や児童への対応等は可能な範囲で行うようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	10	5	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り行っている。必ずとは言えないが、都度、声かけを心がけている。 ・クラスでの打ち合わせは難しいが可能な範囲で行っている。 ・ミーティングのような形ではないが、清掃しながら振り返りや共有を行っている。休みの職員には後日必ず伝達がある。 ・打合せを行う時間はなく、毎日必ずではないが可能な限り、支援者間で共有はしている。 ・毎回、振り返りはできていない。 ・送迎等で時間が取れないこともある。 ・必ず難しい部分があるが、翌朝確認し情報、気づいた点を共有するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせとしての時間の確保は難しい場合があるが、振り返りや内容を共有できるような時間をとれるよう工夫する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> ・記録をしっかりととり、支援につなげている。 	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15				
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> ・担任は同席しないが、児発管が状態の聞き取りをしている。 ・わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスからの情報を聞き取り、場合によっては児童の様子も確認している児発管が会議に参加している。必要な場合には担任が同席できるような体制も検討する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、各関係機関と連携できるような普段より連絡を取り、協力をいただけるようにしている。

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> 併行利用児が増えた。併行利用児が増えることで施設内の方針や考え方を皆で再確認できると良い。 今後、更に密なやり取りができると良い。 関係する幼稚園、保育園と共有できるよう連携している。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> 学校との連絡会に参加、情報を共有している。 	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> センターとして、他事業所と連携を図っている。 わからない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の障害児通所支援事業所等とのつながりを持ちながら、今後、地域全体の活性化、質の向上を目指していけるよう必要な情報を共有しながら関わる。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修は少ないように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を行ってはいるが、幅広く知見を深めるためにさらに計画、検討していく。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> 不明 自立協へ参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立協の会議へ相談支援事業より職員が参加している。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15		<ul style="list-style-type: none"> 年長児のみ交流保育がある。 年長児と限らず、交流することで気づきや成長、楽しめる児も参加するのはどうか。保護者も見学や参加できる機会があるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所の年長児と当事業所の年長児との交流の機会を年2回持った。就学に向けて、同学年の交流を意識して行った。今後も継続を検討していきたい。他学年については今後検討が必要だと思われる。また、交流会以外の機会についても考えていく。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> お互い伝え合い、共有はしているが、共通理解にはつながらない。 難しい 		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> 研修の機会は設けているが参加は少ない。 相談支援員が行っている。 家族支援プログラムはないが、研修の機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> センター内での研修について随時案内と可能な場合に声掛けを行っている。児童発達の勉強会は基本的なことが学べるよう設定しており全員参加を予定している。 	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> わからない 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> 面談を行い、家族の意向を確認している。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> 計画作成後、保護者へ説明、同意を得ている。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方がセンターに足を運ぶ機会がとても多く、面談だけでなく、気軽に話せる場面があり何気ない会話から悩みを話して下さることも多い。 	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> 父母の会はないが、懇談会、おしゃべり会また、ボールプール清掃、行事準備のご協力をいただいで、保護者同士の交流の場を作っている。 きょうだい同士で交流する機会はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士がお話をする機会を設ける。集まった人が自由に話す「おしゃべり会」や懇談会、奉仕作業のご協力をいただきながらの会話の機会を設け、保護者の方が交流できる機会を設ける。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15			
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> 紙ベースで行っている。 毎月、センター・クラスだよりを発行して情報を発信している。 わからない お便りは月1回発行しているが、HP,SNSは分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、センターだより、クラスだよりを発行し情報提供や、児童の様子等をお知らせしている。 	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		・連携ノートや口頭で伝わりにくい場合は、イラストなどを使い伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	12	・行っていない。 ・地域の方々に参加していただく行事は行っていない。	・以前、一般の方に来ていただく「センターまつり」を実施していたが、コロナ禍以降は行っていない。今後は、センターの取り組み等を説明しながら見て理解していただくよう「見学会」を予定している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14		・家族に周知しているか不明。 ・災害を想定した訓練を行い、保護者への協力もいただいている。	・災害、感染症、緊急時の対応について訓練を行い、保護者へも協力をいただいている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1	・決まったものになっており、実際の状況と合っていないと感じる。	業務継続計画（BCP）を基に、災害時の対応について検討、研修、訓練を行っていく予定である。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15		入所時に子どもの服薬状況等を確認している。変更時にも情報をいただいている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15			・食物アレルギーのある児童については、受診により検査結果を提出、本人の状況に合わせて食事の提供を行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2	・安全計画が分からないが、施設の点検や安全に留意して支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15			・ヒヤリハットを作成し、職員間で共有、再発防止に向けて取り組んでいる。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14		・該当する児童がいない。	・やむを得ず、身体拘束を行う場合について、個別支援計画に記載し、説明を行っている。